

和の光

宝塚市立西谷中学校



3年生の皆さんに向けて
～希望する進路を切り拓こう～

校長 筒井 啓介

先日、3年生の進路説明会が開催されました。学年の先生から進路決定までの流れ、公立高校の入試制度（学力検査・推薦・特色選抜）と私立高校の入試制度（専願・併願）の説明などがありました。その時の冒頭で私が話させていただいたことをここに書かせてもらいますので、ぜひ3年生の生徒の皆さんに読んでもらいたいです。

①家庭学習の徹底

私立高校の入試と公立高校の推薦・特色選抜は2月に実施、公立の高校の学力検査は3月に行われます。受験（受検）までの残された日程を逆算し、計画的に学習に取り組んでいくことが大切です。自分で計画を立てて毎日2～3時間は家庭学習に取り組んでいきましょう。

②3教科（国語・数学・英語）をまずはおさえる。

私立高校は国語・数学・英語の3教科受験の学校が多いです。また、公立高校の学力検査は国語・数学・英語・理科・社会の5教科です。つまり、受験（受検）の手段で考えると、国語・数学・英語は高校受験（受検）で必ず必要になる教科です。また、この3教科は相互に関連したり、他の教科（理科・社会など）の学習にも関連したりします。一言でいえば、国語・数学・英語は教科を学習する上での基礎になるといえます。

③入試問題に慣れる。

受験（受検）しようと思う高校の過去問に挑戦してみましょう。時間を決めて、過去3年間の問題の解いてみると、その学校の出題傾向が分かります。その出題傾向を踏まえた上で、受験（受検）勉強に臨んでください。特に英語では長文が出題されるので、長文に慣れることも必要です。公立高校の過去問では、平均65点を目安に頑張りたいと思います。

④社会情勢に目を向ける。

公立高校の推薦・特色選抜を受検する場合、小論文が出題されたり、面接が行われたりします。この時、環境問題や少子高齢化問題、SDGsなど、社会や世界で問題になっている事が取り上げられることが多いです。テレビや新聞の記事で社会情勢に関する問題に目を向けると役立つヒントがたくさんあります。

⑤夜型は朝型に替える。

受験（受検）勉強をするために、夜遅い時間まで勉強する人もいます。私自身も中学生の頃、夜中の1時頃まで勉強をしていたことがあります。次の日、授業中に睡魔で悩まされることがありました。これでは本末転倒ですね。人間の頭が正常に働くには、起床後2～3時間はかかると言われていています。そのことを考えれば、深夜まで勉強するなら、朝早く起きて勉強の方が効率的だと言えます。実際のところ入試は9時頃に行われるので、その時間に頭がフル回転するには6時頃には起床しておく必要があります。ぜひ、夜型の人は早めに朝型に切り替えましょう。

⑥高校は合格して終わりではない。

「高校に合格すればよし」ではありません。高校でしっかりと学び、3年後に希望の進路を勝ち取るためには、学びは継続することが大切です。多くの高校が合格発表後に学習課題を出し、4月に課題テストを行ったりします。中学までの学習がしっかりと身に付いていなければ高校の学習で良いスタートが切れなくなります。

⑦適度な気分転換と体調管理も大切です。

受験生だからといって勉強ばかりしていると、心も体もまいってしまいます。勉強の合間に適度に気分転換することも必要です。要するに勉強と休憩のスイッチを適切にON・OFFすることが必要です。気分転換に音楽を聴いたり、運動をしたり…。また、入試の時期は風邪が流行るおそれがあります。普段の生活で3食しっかりと食事をとる。早寝早起きの習慣を身に付けるなど、体調管理にも気を配ってほしいと思います。

3年生の皆さんは修学旅行・ふれあい運動会・文化発表会の書道パフォーマンスなどで、3年間に積み上げた力を発揮してくれました。個性豊かな19名の3年生、皆さんにはまだまだ無限の可能性が秘められています。輝かしい未来を手にするために、あきらめることなく努力を積んで行こう！！自分の殻を破ろう！！

最後に、兵庫県出身の冒険家 植村直己さんの植村語録「植村直己さんがイノチかけてつかんだコトバ」から次のことばを皆さんに送ります。

■やったことの大きい、小さいではなく

自分の夢に向かって

どれだけ「心」を賭けることができたかが大切である。（冒険家 植村直己）

■ひとつひとつ強い決意のもとに

全精神力を集中してやりぬいてきたのだ。

精神を強靱にすれば、

道は必ず開けると私は思う。（冒険家 植村直己）

■DVD教材の寄贈を受けました

西谷地区まちづくり協議会（環境部会）から映画「アニマル ぼくたちと動物のこと」のDVDを寄贈していただきました。西谷地区まちづくり協議会（環境部会）からBさん・Cさん・Dさんをお招きし、寄贈式を行いました。その中で、「今はインターネットをはじめ様々な手段で情報を集めることができるが、その中から正しい情報を見極めて欲しい。このDVDを通して環境問題を考え、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけにしたい」と、お言葉をいただきました。なお、この映画は後日、全校生徒で視聴させていただきます。

(11月14日)



生徒会執行部のAさんがDVDを受け取りました



まちづくり協議会（環境部の皆さん）



映画の内容紹介をしていただきました

「映画の概要」

ベラとヴィランは、動物保護と気候変動問題に取り組む16歳のティーンエイジャー。自分たちの未来が危機にさらされていると確信している世代だ。過去40年間に絶滅した脊椎動物の個体数はすでに60%以上と言われ、ヨーロッパでは飛翔昆虫の80%も姿を消した。このことを科学者たちは「6度目の大量絶滅」と呼んでいる。気候変動に、6度目の大量絶滅……。50年後、人類は生存していないかもしれない。2人は何年も抗議行動、ストライキ、デモに参加し、環境保護団体等と関わってきたが、どれももううまくいかない。そこで映画監督で活動家のシリル・ディオンの後押しされ、気候変動と種の絶滅という2つの大きな危機の核心に迫ろうと決意した。

なぜ野生動物は姿を消しつつあるのだろうか？そして何よりも、どうすれば絶滅を食い止められるのだろうか？これらの答えを探るべく、2人は世界を巡る旅に出る。まず、古生物学者アンソニー・バルノスキーからは種の絶滅の5つの原因を教わる。それからインドの海岸ではプラスチック汚染について、フランスでは温室効果ガス排出量の約15%を占めている畜産業の実態を、ベルギーでは魚の乱獲問題を、パリでは著名な動物行動学者のジェーン・グドールから動物と人間の関係について学んでいく。また、野生動物に出会うべくケニアの大草原を訪れ、環境大国コスタリカでは現職大統領から自然再生のノウハウを学ぶ。2人は果たしてより良い未来のための解決策を見出せるだろうか？（配給元：ユナイテッドピープル：<https://unitedpeople.jp/animal/>より）

■表彰の紹介

・「税に関する作文」

Eさん「船と税金」 西宮納税貯蓄組合連合会会長賞

・「ことばの祭典Web俳句」

Fさん「聞こえてる夏に乗っかる青い夢」 優秀句

宝塚市内の中学生 2849名から 4451句の応募があり、その中から 20句が優秀句として選ばれました。なお、11月23日に開催される「ことばの祭典」で、最終審査がおこなわれ、大賞・準大賞・特別賞が（講師：坪内稔典氏による選句）決まります。

■部活動の様子～活躍するテニス部～

テニス部は3年生が引退し、1・2年生が中心になって活動に取り組んでいます。中体連の新人大会で日頃の練習の成果を発揮しています。更なる活躍を楽しみにしています。



宝塚市中体連 新人大会にて



兵庫県中学校ソフトテニス新人大会にて

★9月21日（土）、22日（日）

「宝塚市中学校体育連盟 新人大会 ソフトテニス競技」

宝塚市立スポーツセンター テニスコートにて開催

「個人戦」

2年 Gさん 1年 Hさん（ベスト8 阪神大会進出）

2年 Iさん 2年 Jさん（ベスト4 阪神大会進出）

「団体戦」

予選リーグ3位（決勝トーナメント進出ならず）

★10月13日（日）

「阪神中学校新人大会 ソフトテニス競技大会」

伊丹スポーツセンター テニスコートにて開催

2年 Gさん 1年 Hさん（ベスト16 県大会進出）

2年 Iさん 2年 Jさん（初戦敗退）

★「兵庫県中学校ソフトテニス新人大会」

赤穂海浜公園テニスコートにて開催

2年 Gさん 1年 Hさん

2-3 ファイナルゲームで1回戦敗退